

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年12月18日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1. (1) 第50回原子力規制委員会定例会が、明日12月19日水曜日午前中に開催される予定となっております。議題は5件予定されております。

まず、議題1「北海道電力（株）泊発電所3号機におけるBディーゼル発電機起動回路の接続不良に係る保安規定違反と今後の対応について」。こちらは11月9日に確認をされました泊発電所3号機の非常用ディーゼル発電機Bの起動回路接続不良の事象につきまして、保安規定違反というふうに判断をしたこと、また、今後の対応につきまして、委員会に御報告をするものでございます。

次に、議題2「日本原燃（株）再処理事業所における汚染された物品の不適切な管理に係る保安規定違反と今後の対応について」。こちらも同様でございますが、11月29日に日本原燃から報告がございました、管理区域内で使用されたポンプが収納された容器のふた、こちらのふたを非管理区域で開放したという事案につきまして、保安規定違反であると確認をしたことについて報告をするのと同時に、今後の対応について説明をするというものでございます。

次に、議題3「『実用発電用原子炉に係る新規制基準の考え方について』の改訂について（案）」。「こちらは、新規制基準の考え方を説明した資料でございますところの、記載のございます「実用発電用原子炉に係る新規制基準の考え方について」という文書につきまして、規定類の改正があった部分への対応、その他の事項について、必要な改訂を行うということにつきまして、案を示して委員会にお諮りをするものでございます。

次に、議題4「事業許可又は設置許可を受けた核燃料施設等のうち一部の施設を先行して使用する場合の手続きについて」。こちらは核燃料施設等のうち、一部の施設を先行して使用する場合の設工認、使用前検査等の運用について、案を示し、審議をいただくというものでございます。こちらは、先般10月17日にJAEAの原科研の廃棄施設、こちらの許可を行いました際に、委員会におきまして、様々な施設から構成されているということ踏まえまして、こうした場合の扱いについての考え方を検討するようという指

示が委員会でもございました。これを受けて、考え方を整理したものということでございます。

最後に、議題5「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所再処理施設の廃止措置計画の審査方針について」。こちらはJAEA・再処理施設の廃止措置計画の変更認可申請、こちらについての申請の状況及び審査の状況、特に基準地震動、基準津波等に係る審査の方針につきまして、委員会に御報告をするというものでございます。

次に、広報日程の2ページ目下段でございます。12月20日木曜日、(6)第664回の審査会合について補足いたします。議題、審査の対象といたしまして、3件の審査が予定されてございます。

まず、1件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号炉の設置変更許可に係る審査が予定されております。内容といたしましては、先般提出されました取りまとめ資料、こちらの概要などについて、説明をお聞きするとともに、シビアアクシデント対策の有効性評価についての審査も行うという予定でございます。

次に、2件目といたしまして、東北電力・女川発電所及び東通発電所の保安規定の変更についての審査を予定してございます。内容は、品質保証関係の文書の見直しに伴う変更などについての審査ということでございます。

3件目といたしまして、関西電力、四国電力、九州電力の合同の審査ということで、HEAF、いわゆる高エネルギーアーク損傷でございますが、こちらのバックフィットに係る工認についての審査を予定してございます。前回に続いてのコメント回答ということも予定してございます。

次に、広報日程の3ページ目、12月21日金曜日、(9)第667回の審査会合、こちらについてでございます。議題は、記載されておりますとおり、四国電力・伊方発電所の使用済燃料乾式貯蔵施設に係る審査が行われる予定でございます。いわゆる乾式キャスクについての審査ということでございまして、地震、地盤関係ということで、敷地の地質・地質構造、地盤、周辺斜面の安定性評価などについて、前回に引き続き審査・議論が行われる予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ワタナベさん。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしくお願いたします。

明日の原子力規制委員会の議題3なのですけれども、考え方についての改訂ということでも、具体的にどのような内容が改訂されるのか、もう少し細かくお教え

いただければ助かります。

○大熊総務課長　こちらは何点かございます。新規制基準の考え方についての解説の資料ということですが、随時改訂を行っておりますので、様々な点について、改正を順次行っているところですが、今回は、例えばバックフィットについての解説、あるいは地震・津波についての、特に敷地ごとに震源を特定するものについての考え方の解説、あるいは火山についての評価の考え方の解説などなどについて、解説を追加する、あるいは修正するということを含めて、案をお示しをすることになると考えております。詳細は、明日御覧いただければと存じます。

○記者　分かりました。ありがとうございます。

○司会　ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—